

2017年7月11日

[会社名] 富士錦酒造株式会社
[住所] 〒419-0301 静岡県富士宮市上柚野532
[代表] 代表取締役 清 信一 (せい しんいち)
[電話] 0544-66-0005
[FAX] 0544-66-0076

[表題] 富士山頂と駿河湾海底で熟成させた純米酒の回収作業終了。
熟成期間を終え、いよいよ発売へ！

日本一熟成
～日本一深く、日本一高く～

駿河湾沖海中熟成酒・富士山頂越冬熟成酒

「海と空」

2017年7月14日(金) いよいよ発売



富士山が2013年6月に世界文化遺産に登録されて4年が経ちました。表記貯蔵酒は、その登録時から富士錦酒造が温めていたものですが、この夏、熟成期間を終え、いよいよ発売される運びとなりました。

●商品名

「海と空」(うみとそら) 数量限定 200 セット

●商品内容

富士錦 純米酒 720ml×2 本 セット 小売価格 10,800 円(税込)

- ・駿河湾沖海中熟成 純米酒 720ml×1 (熟成期間：2016年11月～2017年6月)
- ・富士山頂越冬熟成 純米酒 720ml×1 (熟成期間：2016年9月～2017年7月)

●商品説明

この商品は、日本一深い駿河湾の海底と、日本一高い富士山頂の両方で全く同じお酒を貯蔵熟成させ、それを一つのセットにして商品化した、日本で初めての商品です。

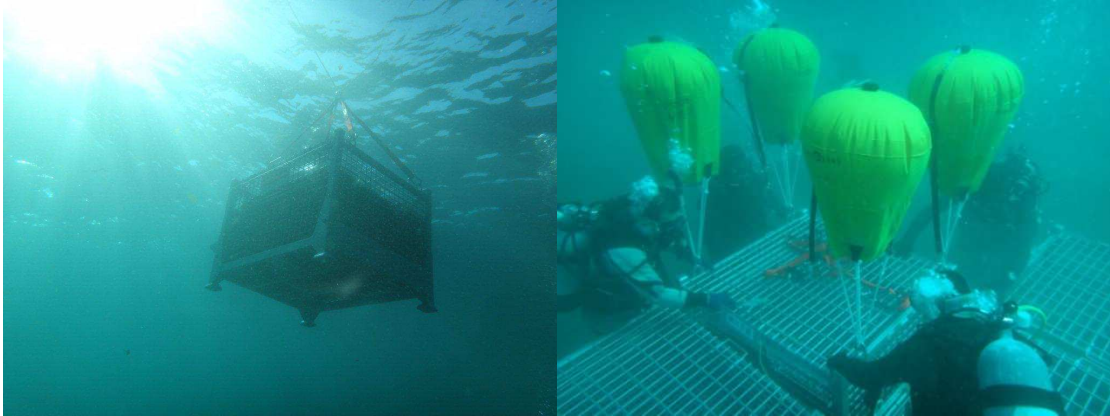
静岡県には、日本一深い海(湾)と日本一高い山があります。今回の試みは、県内の色々な方たちの協力と、世界遺産になる資源のあるこの場所でしか出来ない、人と地域資源の協調によって生まれました。熟成に使用したお酒は、両方とも同時にしぼってビンに詰めた、同じ純米酒。今回の試みでは、貯蔵される場所、育ち方によって、全く異なる味わいになる事を実証したものになりました。

海底のお酒は、常に海流にさらされ揺り動かされ、摂氏 14 度の海底で、一方、富士山頂は 2017 年 1 月 15 日にマイナス 33.8 度を記録した過酷な環境の中で貯蔵されました。静岡の米を使い、静岡が誇る富士山からの伏流水と静岡酵母で仕込んだお酒は、このような貯蔵方法により、まさに静岡の究極によって完結された唯一無二のものになりました。

●目的

=プロローグ=

およそ 3 年前(2013 年 11 月)、偶然ですが富士山の世界文化遺産登録と同時期に、東京の同業者の発案で、「海中熟成酒プロジェクト」というものがスタートしました。これは、ビンに詰めた日本酒を南伊豆の海中に 8 か月間沈め、地上で保管されているお酒と熟成の度合いの違いを楽しんでもらおうと企画し 2014 年 6 月に海中から引き上げて商品化しました。海中に沈められたビンに入ったお酒は常に海流にさらされ、微細な振動を常に受け、アルコールと水の分子が十分に細かく分解されて混じり合い、口当たりがなめらかになる事を実証するものでした。日本酒を海中に沈めた場所は、地元漁協の協力が得られた南伊豆の駿河湾で、日本が面する湾の中で最も深い深度(2,500m)を誇る海ですが、お酒が行方不明になるのを避ける為、水深 20m の海底で貯蔵しました。



(写真は、一昨年の中熟成酒の海底へ沈める際の様子です)

＝本題＝

さて、日本で最も深い駿河湾に面する静岡県は、誰もが知る富士山を有します。日本で最も高い、蔵の目の前にある山頂で貯蔵された日本酒は、どんな味がするのでしょうか？その味や貯蔵方法に興味を持った富士錦酒造では、ちょっとやってみたいと思いました。

●貯蔵方法

駿河湾の海底で貯蔵する方法は、伊豆漁協の協力を得て、漁場の邪魔にならない場所を選定してもらい、ダイバーを使ってビンに詰めたお酒を海底へ沈めました。静岡は台風の通り道になる為、お酒が流されないよう台風の時期を迎える前に海底から引き上げました。

一方、富士山頂での貯蔵ですが、富士登山の入山者数は、平成 17 年の 20 万人に対し、平成 28 年は、24 万人と確実に増えています。そこで、富士山に登山客が多く訪れる期間は避け、閉山する直前に山頂の小屋へお酒を上げ、翌年の山小屋の準備を始める山開きの前に地上へ降ろしました。さすがに 200 本全部を担ぐ事は困難なので、人が背負えるだけ背負い、それ以外のお酒は、資材の運びおろしに使うブルドーザーを運搬に使用しました。



山頂到着時の様子



冬の富士山頂

●商品特性と効果

この商品の特性や価値は、お酒を主材としてエンターテインメント性を訴求した商品ですが、それ以外にも、海や富士山をはじめとした地域資源活用の可能性を訴えたものです。ただの商品がこうした物の活用により付加価値を付ける事によって、とても面白いものに生まれ変わる事を、ものづくりに携わる人たちに更に感じて欲しい気持ちもありました。

また、富士山と駿河湾がある静岡県だからこそ実現できる事は、静岡県と富士登山関係者の活動を大いにアピールできる事になります。

今後、世界遺産があるという事を、違う側面から活用する事によって、もっとその恩恵を感じられるようになってくれる事を願っています。